

わたしたちの鹿児島、
わたしたちで守ろう。

Let's protect Kagoshima's native species by ourselves.

》 外来種から鹿児島県の生物多様性を守るために

鹿児島県は南北 600km にも及ぶ県土や 3 つの気候帯を有しています。また、渡瀬線を挟んだ 2 つの生物地理区に属しており、鹿児島県の多くの島々には、固有種、希少種が生息・生育し、独特な生態系が存在します。このため、動植物が持ち込まれることで、生態系に影響を及ぼす侵略的外来種となる場合があります。

世界自然遺産に登録された奄美大島や徳之島のある奄美群島でも、外来種が野生化し定着することで、生態系への被害やそのおそれが生じています。

これらのことを十分に理解し、安易に県内へ動植物を持ち込むことのないようにしましょう。

外来種被害予防3原則

入れない

悪影響を及ぼすおそれのある
外来種を自然分布域から
非分布域へ「入れない」。



捨てない

飼養・栽培している
外来種を適切に管理し、
「捨てない」。



拡げない

既に野外にいる外来種を
他地域に「拡げない」。



》 外来種は悪者なの？

外来種は、意図的又は非意図的に自然分布域外に持ち込まれた生物です。被害を受ける在来種同様、生態系や人の生活環境への被害を防止するために防除される侵略的外来種もまた「被害者」です。そのことを理解し、自らが新たな外来種問題の原因者とならないよう十分に気をつけましょう。

本県の外来種の詳しい情報については！ [鹿児島県 外来種](#) [検索](#)

鹿児島県の外来種の詳しい情報については、鹿児島県のホームページをご覧ください。

[URL https://www.pref.kagoshima.jp/kurashi-kankyo/kankyo/yasei/gairai/index.html](https://www.pref.kagoshima.jp/kurashi-kankyo/kankyo/yasei/gairai/index.html)



鹿児島県にお住まいの方向け

アメリカハマグルマ 防除マニュアル



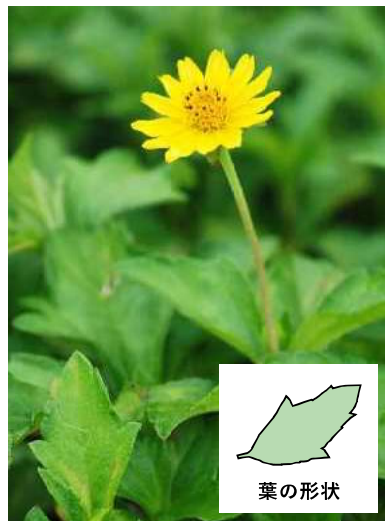
アメリカハマグルマは鹿児島県に影響を及ぼしており、防除対策について検討が必要な種とする「重点啓発種」として選定されています。

わたしたちの鹿児島、
わたしたちで守ろう。

Let's protect Kagoshima's native species by ourselves.



アメリカハマグルマってこんな植物



アメリカハマグルマ

キク科 ▶ 南アメリカ北部原産
 学名 : *Sphagneticola trilobata*
 環境省カテゴリー : 緊急対策外来種
 鹿児島県カテゴリー : 重点啓発種
 国内移入分布 : 九州南部、南西諸島

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
開花												
結実												
抜き取り												

※濃い色:花や種子が多い時期

特徴 海岸や河川周辺を中心に耕作地や公園などの様々な環境に見られる多年生のつる植物です。辺り一面を覆うように成長し、他の植物を被圧します。黄色の花を年中咲かせます。

葉 葉の長さは5~10cm、幅2~5cmです。対生で、表面はザラつき、鋸のような形で縁は少しギザギザしています。茎は地面を這い、辺り一面を覆うようにマット状に成長します。

花 4cmほどの黄色の花を年中咲かせます。花は茎から一輪ずつ立ち上がるように咲き、よく目立ちます。

繁殖 這っている茎や種で増えます。茎が地面に接するとそこから根を出します。一度侵入すると茎からどんどん増えていきます。

アメリカハマグルマによる影響

他の植物を覆うように成長するため、アメリカハマグルマの下に生育する植物に光が当たらなくなり、枯れてしまいます。在来種のネコノシタとの交雑の可能性があります。



アメリカハマグルマの防除方法



主な生育地 海岸、河川堤防

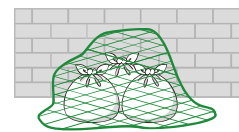
抜き取り

時期 ● 種ができる前の春~夏

防除方法



廃棄方法



燃えるゴミに出します。

※詳しくは各自体のゴミの収集・分別ルールをご確認ください。

根絶までの流れ

防除を行った場所を確認し発芽・再生が確認されれば、再度防除を行いましょう。確認されない場合も、土の中にあるタネから発芽・再生する可能性があるため、数年間は確認を続けましょう。

よく似た在来種



ネコノシタ

砂地の海岸に生育します。葉は厚みがあり、猫の舌のように触ると明確にザラザラしています。



クマノギク

海岸付近の湿地に生育します。葉は細長く、縁にはあまりギザギザがありません。



キダチハマグルマ

海岸付近の様々な環境に生育します。他の植物に這い登って群生します。葉の縁のギザギザが目立ちます。



オオハマグルマ

砂地の海岸に主に生育します。葉は厚みがあり、ネコノシタを大きくしたような形で、触ると明確にザラザラしています。

間違えないように葉を比べましょう!



葉の形状

